

令和4年度 事業報告

1・事業方針

【コロナウイルスの感染拡大により活動が制約されている中で、一日でも早く従来の活動が出来る状態になることを願い今後の活動を進めていきます】

コロナ禍の中で私達はスポーツ活動を通しての心身の健康の大切さを再認識しました。新しい生活様式の中で出来るスポーツへの取組みと健康維持の為に高齢者から子供まで全市民に向けて生涯スポーツを推進していきます。

2・重点目標

- (1) 県民大会等への参加意識の高揚と顕彰事業の実施
- (2) 施設の管理と有効活用
- (3) 生涯スポーツの推進とスポーツ少年団活動への支援
- (4) 仙人マラソン大会等各種大会の開催支援
- (5) 加盟協会への活動支援

3・事業内容

各事業ともコロナウイルスの感染状況によりまだ、通常の活動は出来ませんでした。が、野外などの競技など状況を見極め、ガイドライン等に倣いながら活動しました。

(1) 県民大会等への参加意識の高揚と顕彰事業の実施

- 県民大会は今年度もコロナ感染対策のガイドラインにより対策を万全にし、ほとんどの競技が従来通りに開催され、15競技、136名がエントリーし参加料、旅費等を支給しました。
- 顕彰事業は徐々に大会等も開催されるようになりましたが、通常の活動までとはいかない中でも多数の受賞者があり、2月25日(土)式典を実施しました。
(受賞者(団体含み)19件【功労賞1名、奨励賞16名に団体として2団体】)

(2) 施設の管理と有効活用

- 平田球場については感染対策を万全にし多数の大会が行われました。
また、全国大会(日本スポーツ協会主催)として、9月にスポーツマスターズ野球競技大会が盛大に行われました。遠方の県から選手の皆さんが訪れるという事もあり施設職員等も一丸となり整備を行いました。
- 新しくなった大天場公園及び平田公園多目的グラウンドでは生涯スポーツ活動の利用が増えています。

(3) 生涯スポーツの推進とスポーツ少年団活動への支援

- 市内全域で高齢者を対象に健康教室を開催しました。また、新しく市と県からの補助事業として平田地区を対象とした教室も増え、これからも生涯スポーツを進めて行きます。
- スポーツ少年団活動は公共施設を使用しての活動制限も緩まり、従来の活動とまではいかない中でも、ガイドラインにより感染対策をしたうえで活動を行いました。

(4) 仙人マラソン大会等各種大会の開催支援

- 仙人マラソン大会は今年度も10月30日(日)に開催予定で検討されましたが、全国的なコロナ感染拡大に伴い中止としました。

(5) 加盟協会への活動支援

- 例年のように38協会へ活動奨励費を支給しました。